



「大きな夢の挑戦者」 「小さな声の代弁者」

田仲 つねお (田仲常郎) 市政レポート



TANAKA TSUNEO

田仲つねお事務所

〒807-0831 北九州市八幡西区則松6丁目7-11
TEL 093-602-8417 FAX 093-692-9821
URL: <http://tanaka-tsuneo.net/> E-mail: hanamax@tanaka-tsuneo.net

政務調査室 市政相談窓口

TEL 093-602-8218

北九州市 平成23年9月議会報告

PROFILE

昭和41年3月20日生まれ
緑ヶ丘第二幼稚園 則松小学校
昭和56年3月則松中学校卒業
昭和59年3月東海大学附属第五高等学校卒業
父親:田仲一雅市議会議員当選以来秘書として
活動し平成21年1月に市議会議員に初当選。
現在に至る

社会活動歴:
NPO則松金山川コスモス会 理事長
八幡西地区柔道連盟顧問
北九州市花さくまづくり協議会副会長
北九州なぎなた連盟会長
北九州市立大学地域創生学都地域創生学類2年在学中
環境建設委員会



団体部門 八幡西区則松 則松金山川 コスモス会

地域 景観賞

10月30日 18時30分より
ホテルクラウンパレス北九州において
「則松金山川コスモス会」を励ます会
を行います。(会費:5,000円)

親子2代の夢かなう

■決算特別委員会市長質疑について

今回、決算特別委員会の市長質疑にて、私は北橋市長に対し、雑草ばかりの公園を除草して予算を浪費するのではなく、市民農園として開放するよう質疑し、市長より、まずはモデル事業として取組んでいくという前向きな答弁をいただきました。これは、今まで頑なであった市の答弁としては1歩も2歩も踏み込んだ答弁であります。我が父、一雅以来これまで親子で粘り強く長年にわたり要望していた案件で、親子2代で勝ち取った大きな1歩であります。

その他、市長質疑では、自治会やボランティア団体等で清掃して集積されたごみの処理は、ボランティア袋で分別せずに処分しているのが現状であるため、資源化物とそれ以外の物にボランティア袋を色分けし、分別して収集すべきであると質疑し、市長より、今後、公共の場所での清掃活動においても、多くの市民の協力を得て、資源化を推進する必要があると考えており、資源化物の分別収集に取り組むことを検討していくという答弁をいただきました。今後も、市民生活の様々な問題点を掘下げ、市民が安心して快適に暮らしていくよう質問や提案をしてまいります。

■平成22年度決算について

平成22年度は、本市を取り巻く経済社会情勢を踏まえ、特に重点的に取り組むべき「3つの柱」を掲げています。

①「市民の生活を守る」

急激な経済・雇用情勢の悪化や豪雨災害など、市民生活を脅かす課題に対し、単独事業の実施による公共事業費の確保や中小企業融資枠の増額、雇用の創出などの緊急経済・雇用対策や、水害・震災対策など、市民生活の安全・安心の確保を図る施策を実施しています。

②「未来をひらく」

低炭素型社会の実現に向け、スマートコミュニティ構想の推進、アジア低炭素化センターの創設など、「環境」と「アジア」をキーワードに、戦略的に各種事業を展開しています。

また、アルモノーサンク北九州ソレイユホール(旧九州厚生年金会館)のリニューアルオープン、乳幼児等医療費支給制度の拡充や中学校完全給食の実現に向けた施設整備など、まちのにぎわいの創出や、将来の本市を担う子どもたちの子育て環境、教育環境の充実を図っています。

③「持続可能な財政を確立する」

平成21、22年度の2カ年の集中取組期間における収支改善等の取組みによって、財源調整用基金の取崩しに頼らない、単年度収支の均衡を、平成22年度決算において実現しています。

決算の収支状況等については、一般会計の決算規模は、

歳入 5,334億 7,729万円、
歳出 5,286億 8,627万円、

歳入歳出差し引き 47億 9,102万円、
これから繰越にかかる財源を差し引いた実質収支は、15億 6,786万円の黒字となっております。

次に、普通特別会計については、国民健康保険特別会計ほか23会計で、

歳入 4,811億 6,459万円、
歳出 4,726億 9,677万円、

歳入歳出差し引き 84億 6,782万円、
これから繰越にかかる財源を差し引いた実質収支は、81億 4,346万円の黒字となっております。

次に、企業会計については、損益収支、資金剰余ともに、上水道事業会計、工業用水道事業会計、交通事業会計及び下水道事業会計の4会計が黒字となっております。

病院事業会計については、経営改善の取組みにより、損益収支等の赤字が縮小し、単年度実質収支は黒字に転換しています。

■平成23度補正予算について

今回の補正予算額は、
一般会計で 30億 8,427万円の増額、
普通特別会計で 4億 8,666万円の増額を
行うこととしており、補正後の予算規模は、全会計で 1兆 1,622億 7,097万円となります。

今回の補正予算は、緊急経済・雇用対策として、小倉駅及び黒崎駅のペDESTリアンデッキにLED照明灯や太陽光パネル等の設置、国道199号などの道路整備や、保育所の新設に対する補助、35人学級を平成24年度から小学校3年生に拡大するための教室整備などの公共事業に要する費用のほか、重点分野雇用創出事業等、地域に新たな雇用を生み出すための費用を計上しています。

さらに、新しいコミュニティ交通に関する社会実験等環境未来都市に向けての新たな展開に要する経費を計上しています。

介護保険特別会計については、平成22年度決算に伴う介護給付費負担金等の国・県への返還等に要する経費などを計上しております。



毎日新聞「まいにちまいむ」2011年(平成23年)9月20日発行
街かどピックスに掲載されました。

八幡西区のまちづくりについて

北九州市ホームページより抜粋

八幡西区のまちづくりについて

「元気発進!北九州」プラン(市の基本構想・計画)及び平成22年3月策定の「八幡西区のまちづくり方針」を基本に、今後の八幡西区のまちづくりの進め方を示しました。

広く区民の皆さんにお知らせすることにより、
協働してより住みやすいまちづくりを推進します。

計画期間及び運営方針

◆ 計画期間：平成23年度から概ね3年間

◆ 計画の運営方針

区独自の事業及び区に関係した重要な事業の進捗状況を、区役所と関係部局との連携を密に図ることにより、計画の進捗を検証するとともに確実な計画の実現を目指します。

平成23年度の主な事業

- ◇ 黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備事業
- ◇ 黒崎副都心賑わいづくり推進事業
- ◇ 「長崎街道」の歴史と文化を活かしたまちづくり事業
- ◇ 健康づくりを支援する公園整備事業
- ◇ 子ども菜園づくりモデル事業

八幡西区のまちづくりの課題

- ① 拠点地区などの機能充実・強化
- ② 交通対策
- ③ 多様な産業の振興
- ④ 少子・高齢化への対応
- ⑤ 自然的環境の保全と活用
- ⑥ 地域の伝統文化・行事を活かしたまちづくりへの取組み
- ⑦ 古くから形成された住宅地の人口減少や高齢化の進展
- ⑧ 既存集落の生活環境の維持・活性化

まちづくりの5本の柱

- ◆ 産業振興を図り、にぎわいと活力ある、多くの人が集まり交流するまちをつくる
- ◆ 街なかに多くの人々が住み続け、子どもから高齢者までだれもが安全に安心して暮らせるまちをつくる
- ◆ 長崎街道などの歴史や学術・文化に触れ、多くの人々が夢をはぐくみ、訪れたいくなるまちをつくる
- ◆ 山や川やなど豊かな自然を活かし、水と緑の潤いを感じられるまちをつくる
- ◆ 住民が主体の、参加と協働によるまちづくりを進める

市政レポート発刊にあたり

大きな地震と原発事故の影響で、今年の夏はことさら節電が意識されました。そのことは日本だけの問題ではありません。節電のためにエアコンの稼働を控えた人も多かったと思います。

思えば我々日本人は、もともと四季を楽しむ文化を持っていますし、限られた条件の中でも心地よく過ごせるよう、打ち水、扇子に風鈴といったように工夫をすることが非常に上手だと思えます。

「莫大なエネルギーを消費する近代以降の文明は、行き詰まりつつある」と、そう多くの人々が感じています。次の段階へと進むには、やはり自然とのつき合い方を考え直す必要があると思います。私も早朝よりコスモスやチューリップと付き合い花々の生長とともに、その気持ちを強くいたしました。

今後も、人間と自然がうまく共生していくことのできる地域を目指しあらゆる限りの努力をしてまいります。これからもご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

